

協会記事

理事会（平成 15 年度第 6 回）

平成 16 年 1 月 19 日（月）17：30～19：00，当協会役員室において開催。出席：肥田 昇（会長），嶋崎吉彦（副会長），野上道男（副会長），大島章一，大森博雄，田村俊和，長瀬和雄，西田耕一，三上岳彦，盛谷智之の各理事，田邊 裕監事（佐藤俊典監事は欠席）および事務局。

・議事録の承認：平成 15 年度第 5 回理事会議事録は原案の一部を削除して承認された。

・報告事項：

1. 編集委員長報告：大島理事

112 巻 6 号「特集：断層帯のレオロジーと地震の発生過程」は諸般の事情で発行が遅れ現在校正中。論文 15 編と「巻頭言」で 190 ページ，書評その他を含め 200 ページを超える予定。さらに 10 ページの総目次がつく。113 巻 1 号は通常号。論文 8 編程度と地学クラブ 200 回記念関連記事，米国巡検，「地学を楽しむ会」報告等の予定で 160 ページくらいになる予定。2 号は「特集：山岳環境の現状と課題」で査読中。16 編 130 ページほどの予定。（岩田委員が担当）113 巻の企画特集号については現在編集委員会で検討中。

2. 行事委員長報告：三上理事

来年度の事業計画および予算について報告があった。対象を会員に限定する事業と一般向けの事業の割り振りについて意見があった。

3. 図書委員長報告：長瀬理事

12 月 19 日に開催された委員会の内容が報告された。雑誌の製本は年度内に実施する，地学雑誌のバックナンバーをネット上で公開する件については，広報，将来計画の両委員会と連絡をとり努力する。さらに 16 年度の事業計画および予算案を決めた。

4. 日本地学史編纂委員会報告：大森理事

11 月 21 日に開催された委員会で，地学雑誌に掲載する原稿は結局 3 月末までに投稿することに決まったと報告された。

5. 将来計画委員会報告：野上理事

11 月 25 日に開催された委員会について報告があった。地学雑誌の電子的公開については積極的ではあるが，留保条件もある。地学専門家紹介事業については来年度事業として提案する。JABEE 加入については検討を継続する。褒賞制度については次回委員会で取り上げる，などと報告された。

6. 広報委員会報告：田村理事

12 月 1 日開催された委員会について報告された。地学雑誌のウェブ公開について，新刊は現在の試行を続ける，バックナンバーはいつでも公開できるよう準備をすすめる方針を決め，来年度事業計画，予算要求に盛り込むこととした。

7. 庶務担当事項報告：嶋崎理事

事務的な報告（年末懇談会出席者数，講堂の机の交換，固定資産税の減免など）のほか，国際堆積学会後援を承諾する件，逝去された早川会員の紙碑執筆を陶山会員に依頼する件，人材派遣会社からの値上げ要請の件などが報告された。

・議題：

1. 会員の入退会の承認

入 会：阿部なつ江，井上 明，今関理博，大石太郎，太田正厚，坂本 泉，田畑 弾，田村系子，藤田英忠，古田敏夫，元木理寿 11 名
退会（逝去）：濱野一彦，早川正巳 2 名
退 会：井内 昇，奥村 清，小野吉彦，川上雄司，佐田公好，四十九勇治，関根良弘，久田英子，尾藤章雄，藤野直樹，森川 洋，山内秀夫，吉田亘弘 13 名

2. 平成 16 年度事業計画および予算について

各委員長から事業計画と必要な予算の説明が資料によってあり，質疑応答，意見交換がおこなわれた。その結果，大筋では了承されたものの，行事委員会の計画の表現法，広報委員会のウェブ掲載の範囲（したがって予算額），新規事業の人材紹介の事業内容に外国語翻訳（とくに和英）を加えること等の諸点について再度見直した上，次回理事会で決定することになった。